



年頭の辞
代表取締役社長 水野 功

社員の皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年をご家族お揃いで健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと国内では新型コロナウイルス感染症拡大は「第八波」まで新規感染者数の増減を繰り返し、ウイズコロナ下で円安を背景とした物価高や原材料の高騰で消費の下振れはあったものの、内需は堅調に緩やかな回復が見られた一年でありました。

他方、当社の主要取引先である日野自動車殿では排ガス・燃費に係わるエンジンの不正問題が発覚し、型式指定の取り消しという重い処分によって同社の大幅な減産が当社を含めた関係取引先へ甚大な影響を与えております。当社では各部門で雇用と収益の確保を主眼に様々な対策を立てて取り組んでおりますが、早期の生産量回復が待たれるところです。

海外を見ますとロシアのウクライナ侵攻は先行きの見通せない状況が続き、原油やガスのエネルギー価格や小麦をはじめとする食料価格が高騰して様々な商品価格に影響を与えました。値上げの波は企業の収益や家計に大きな負担となり、インフレや継続的な利上げも併せて新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向をたどってきた経済の景気回復ペースを鈍化させております。

このような環境下、国内自動車販売台数は昨年も五百万台を大きく下回り、当社の主要得意先である日野自動車殿の扱う商用車（普通トラック）販売台数も六万台を下回る見込みです。当社の売上高は各部門で拡販に努めました。前記の減産等の要因から前年比で二〇〇〜三〇〇%の減収で推移し、利益面でも休業・改善活動を継続して収支改善を図りましたが業績の悪化は避けられないものとなっております。

始まりました二〇二三年、ウイズコロナの下で受注の回復時期や燃料費の高騰など不安要素の多いスタートとなりました。変化するワークスタイルや働き方改革関連

法への対応、SDGs（エスディージーズ）「持続可能な開発目標」を意識した企業活動など、当社が取り組むべき課題は山積しておりますが、日野自動車殿の生産回復が待たれる厳しい受注環境の中で、安全・輸送品質の向上は会社の維持・繁栄に直接的につながる最も重要な課題です。フォークリフトも含めてドライブレコーダーを増設し輸送品質を採点によって可視化して底上げを図っておりますが、採点と事故の発生率は顕著に係関係して繁栄は成し得ず、このことは労使ともに肝に銘じて仕事に取り組んでいただきたいと年初に当たり強くお願いいたします。

今年卯年です。「卯」は十二支の四番目、中国伝来の植物の循環を表すと「莖や葉が大きくなる様子」とのこと。動物の字を当てると「菟」で跳躍するようすから「飛躍・向上」。また、穏やかなイメージから「安全」の象徴としての意味を持ちます。安全活動の成果が大きく表れ飛躍の年になるよう、社会を支える物流業の一員として次の成長に向けて会社一丸となって進んでいきましよう。

謹賀新年



今後の予定(一月)

1月17日(火)～20日(金)
ISO39001(RTMS)更新審査

1月23日(月)
収益フォロー会議
関連会社経営者会議

※1月度部次長連絡会は資料配布のみ



安全ニュース号外



関連・協力会社の皆さん明けましておめでとうございます。

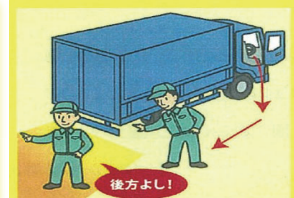
新しい年をご家族お揃いで健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、いつも安全輸送にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、安全管理部から号外として皆様にお願ひがあります。昨年の事故を分析した結果、視界確認不足やルール違反が原因で多くの事故を招いていることが判明しました。

幸いにして事故によって怪我をされたとの報告はなく、物を破損した程度ですんでいます。今後は視界確認の徹底、ルール順守の徹底をし、事故の未然防止を目指してまいります。そのためには、皆さんに「3つの視界確認」、

- ① 直接視界(目で見て確認)
- ② 関節視界(ミラーやバックモニターを活用して確認)
- ③ 努力視界(自ら動いて確認)



の励行をお願いしたいと思います。

特に大切なのは、**努力視界確認**です。

努力視界確認は、自ら体を動かして確認することです。

例えば運転席においては、上体を前後左右に動かして見られなかった死角を確認する。

バック時は、降車して直接自分の目で確認する等で「**自ら動いて確認**」する努力をお願いします。

車を人間が運転している限り、残念ながら事故は0にはなりません。

しかし、事故件数を半減することはできます。

事故0に近づけるには、**皆さんの努力**が非常に大切です。

本年も無事故無災害を皆さんと一緒に目標としますので、どうぞ宜しくお願い致します。



編集

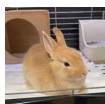
後記



新年明けましておめでとうございます。二〇二二年から二〇二三年への年末年始は非常に天候に恵まれ、麗らかな日が多かったのでとても過ごしやすかったですね。皆様もゆつくりお過ごしになりましたでしょうか。

昨年は、喜ばしいことに四名の新入社員を迎え社内新しい風を吹かせることができました。会社組織は絶えず変化し続けたいと行けないのです。何かを変化させると、必ず新しい風が吹きます。しかし、それは追い風となるかもしれませんし、はたまた横風や逆風になるかもしれません。それでも変化をしない(成長しない)状態が続くと組織の衰退へとつながります。

一月から最高のスタートダッシュを切り社員一同力を合わせていきましょ



〔編集担当…長野〕

人の動き

組織の一部変更

物流管理部兼務・改善グループを部品物流部内に移管し、営業グループは営業部に昇格する。

役員の一部変更

石崎専務取締役 物流本部長 営業推進部 担当
商品車物流部、部品物流部、営業部、安全管理部 管掌

永田常務取締役 物流本部副本部長 商品車物流部、営業部、安全管理部を担当
物流管理部を管掌、関連会社及び協力会社支援

平林取締役 部品物流部を担当、金沢営業所を主管

須賀取締役 営業部 副担当

入社 11.01 澤崎 洋 金沢営業所
11.01 藤田 和祐 金沢営業所
11.11 阿部裕一郎 部品物流部 CLC羽村グループ
11.21 竹内 勇磨 金沢営業所

兼務 12.01 石原 忠行 ISO推進室グループ長代理 兼務
(主/部品物流部 CLC羽村Gグループ長代理)

異動 12.01 斎藤 勝也 営業部 グループ長代理(主幹)
12.01 中野 賢治 営業部 サブリーダー(主任)
12.01 小林 保 部品物流部 業務改善G(嘱託契約社員)
12.01 須田 茂樹 物流管理部 兼務を解く(部品物流部 部長代理)
12.01 新出 隆司 物流管理部 兼務を解く
(部品物流部 CLC羽村Gグループ長代理)

職位変更 12.01 石田 大輔 総務部 主務(ISO推進室事務局長 兼務)
11.13 高橋 圭二 総務部 情報G(嘱託契約社員)